

令和3年度

事業報告書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

社会福祉法人 津野町社会福祉協議会

事業実績の概要

新型コロナウイルス感染予防のため、多くの事業について中止や内容の変更等の対応を行いました。一方、地域には、生活困窮や社会的孤立に陥る人の生活課題が顕在化し、深刻な社会問題となってきたため、本会においても個別相談支援や福祉委員のしくみの見直しを行うなど支え合う地域づくりに向けて事業推進を図りました。

また、あったかふれあいセンターの拠点機能強化や行政と協働で地域福祉(活動)計画策定に取り組み、地域福祉活動の基盤強化に取り組みました。

〈 令和3年度重点的な取り組みに関する評価 〉

1. あったかふれあいセンターの拠点整備

あったかふれあいセンターの体制強化のため、2か所の拠点を整備しました。
住民参加で運営を考える運営協議会を拠点ごとに開催し、多くの意見や知恵を得ながら、具体的な行動計画を検討することができました。

2. 総合相談機能の充実推進

ひきこもりなどの社会的孤立や生きづらさを抱える生活困窮の課題について、生活困窮者自立支援などの個別支援事業を通して伴走型支援に取り組みました。制度のはざままで福祉サービスを利用できない住民の様々な地域生活課題が見える化できるように行政関係機関と検討の場を持ちました。

3. 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

令和4年度からの5か年計画を行政と協働して取り組みました。特に住民の意見を聴くため、ボランティア、中学生、サロン参加者からの聞き取りアンケートの実施や福祉座談会を通しての地域課題の把握に努めました。

1. 法人基盤整備・強化

(1) 評議員、役員組織運営

■評議員会

評議員の改選期にあたり、6月22日より12名の評議員が就任した。法人運営の基本ルール、体制の決定と事後的な監督を行う議決機関として、定められた事項について決議を行い、地域課題についても積極的な意見交換を行った。

<評議員会開催状況>

開催日 場所	会議の名称 出席者数	議題及び内容
令和3年 6月22日(金) 津野町老人福祉センター	第1回(定時) 評議員会 評議員 8名 (会長、事務局 3名)	<議案> ①令和2年度事業報告 ②令和2年度収支決算 ③理事、監事の選任 <協議・報告> ・令和3年度第1回理事会報告
令和3年 12月23日(木) 津野町総合保健福祉センター	第2回評議員会 評議員 10名 (会長、事務局 3名)	<議案> ①令和3年度第1次補正予算 <協議・報告> ・令和3年度会長職務執行状況報告 ・令和3年度第3回理事会報告 ・令和3年度第4回理事会報告
令和4年 3月28日(月) 津野町老人福祉センター	第3回評議員会 評議員 11名 (会長、事務局 3名)	<議案> ①令和3年度第2次補正予算 ②令和4年度事業計画 ③令和4年度収支予算 <協議・報告> ・令和3年度第5回理事会報告

■理事会

6月22日、新たな理事会体制となり、会長に高橋保章氏、副会長に大崎登氏が就任した。理事会には、職員も参加し、役職員が課題意識の共有を図った。

また、会長、副会長は、11月5日ブロック別市町村社協会会長等意見交換会に出席し、高幡圏域内の社協、高知県社協との課題共有、情報交換を行った。

<理事会開催状況>

開催日 場 所	会議の名称 出席者数	議 題 及 び 内 容
令和3年 6月4日(金) 津野町老人福祉 センター	第1回理事会 理事 8名 監事 2名 (事務局 7名)	<議案> ①令和2年度事業報告 ②令和2年度収支決算 ③ボランティア活動・福祉教育推進事業助成 金交付対象事業の承認 ④どんぐり農園運営規程の一部改正 ⑤経理規程の一部改正 ⑥育児・介護休業等に関する規程の一部改正 ⑦評議員選任・解任委員会運営細則の一部改 正 ⑧評議員選任・解任委員の選任 ⑨評議員候補者の推薦 ⑩評議員選任・解任委員会の招集 ⑪理事、監事候補者の選定 ⑫評議員会の招集
令和3年 6月22日(火) 津野町老人福祉 センター	第2回理事会 理事 8名 監事 2名 (事務局 2名)	<議案> ①会長、副会長の選定 ②評議員選任・解任委員の選任 ③第三者委員の選任
令和3年 9月28日(火) 津野町総合保健 福祉センター	第3回理事会 理事 8名 監事 2名 (事務局 7名)	<議案> ①非常勤職員就業規程の一部改正 ②給与並びに旅費等規程の一部改正 ③非常勤職員給与並びに旅費等規程の一部改 正 <協議・報告> ・会長職務執行状況報告 ・地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状 況 ・歳末たすけあい事業 ・社会福祉協議会の性格、業務
令和3年 12月14日(火) 津野町老人福祉 センター	第4回理事会 理事 8名 監事 2名 (事務局 6名)	<議案> ①令和3年度第1次補正予算 ②評議員会の招集 <協議・報告> ・介護事業所の課題 ・歳末たすけあい特別弁当 ・地域福祉(活動)計画

<p>令和4年 3月16日(水)</p> <p>津野町総合保健 福祉センター</p>	<p>第5回理事会</p> <p>理事 8名 監事 2名</p> <p>(事務局 6名)</p>	<p>〈議案〉</p> <p>①令和3年度第2次補正予算 ②育児・介護休業等に関する規程の改正 ③給与並びに旅費等規程の一部改正 ④非常勤職員給与並びに旅費等規程の一部改正 ⑤令和4年度事業計画 ⑥令和4年度収支予算 ⑦評議員会の招集</p> <p>〈協議・報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長専決事項の報告 ・会長職務執行状況報告
--	---	--

■監査

監事は、令和2年度事業及び会計監査を実施し、指摘事項を会長及び事務局へ告げた。同時に監査報告書を作成した上で、理事会で報告した。6月22日、役員改選において監事2名が新しく就任した。また、理事の業務執行状況を監査する立場から、全ての理事会に出席し意見を述べた。

〈定例監査〉

実施日：令和3年5月25日（火）
場 所：津野町総合保健福祉センター「里楽」
監査項目：令和2年度事業実績報告書
令和2年度計算書類及び関係書類

〈中間監査〉

実施日：令和3年10月29日（金）
場 所：津野町総合保健福祉センター「里楽」
監査項目：令和3年度前期事業及び会計処理

■評議員選任・解任委員会

評議員改選期にあたり、下記のとおり委員会を開催した。

開催日 場 所	会議の名称 出席者数	議 題 及 び 内 容
令和3年 6月18日（金） 津野町総合保健 福祉センター	評議員選任・解任委員会 委員 5名	〈議題〉 ①評議員の選任について

(2) 苦情解決体制

第三者委員のうち2名が本会理事に就任したことにより、令和3年6月22日付で、新たに2名の委員を理事会で承認し任命した。

福祉サービス利用者等からの苦情として対応する案件はなかった。

(3) 住民会員制度

長引く新型コロナウイルスの影響による収入減世帯等への配慮を行いながら、7月に、町内全域の成人に会員加入のお願いをし、各地区長の協力により、下記のとおりの実績があった。また、特別会員の加入についても格段のご理解をいただき下記のような実績を上げることができた。しかし、感染予防のため地域福祉事業の一部が実施できなかつたため、会費を生かしての活動が十分にできなかった。加入状況、用途については、社協だより「あくしゅ」に掲載した。

■個人会員

	会員数(人)	加入戸数(戸)	口数(口)	金額(円)
東地区	1,145	1,132	1,146	584,500
西地区	525	470	545	268,400
合計	1,670	1,602	1,691	852,900
※前年度	1,711	1,515	1,738	864,600

■特別会員

	団体数	加入口数	金額(円)
町内	45	47	235,000
※前年度	45	47	235,000

(4) 事務所と職員体制

本所、西支所及び就労継続支援事業所にそれぞれ職員を下記のとおり配置した。地域福祉の地域担当制及び複数事務事業の兼務による職員体制とした。

<令和4年3月現在の職員体制>

本所	事務局長	1名	西支所	支所長(事務局長兼務) (1名)	
	支所長兼務 生活困窮主任相談員兼務			主監	1名
事務局長次長	事務局長次長	1名	就労継続支援事業所	あったかふれあいセンターコーディネーター兼務	
	就労継続支援B型事業所管理者兼務 日常生活自立支援事業専門員兼務			主任	1名
主任	主任	1名	サービス管理責任者(非常勤)	日常生活自立支援事業専門員兼務	
	地域活動支援センター施設長兼務 生活困窮相談支援員兼務			事務職員(非常勤)	1名
主幹	主幹	1名	目標工賃達成指導員(非常勤)	あったかふれあいセンター職員(非常勤)	2名
	※訪問介護事業所管理者・サービス提供責任者			配食員(非常勤)	1名
主事	主事	1名	[どんぐり農園]	訪問介護員(非常勤)	1名
	事務職員(非常勤)	1名		[作業所里楽]	生活支援員(非常勤)
訪問介護員(非常勤)	訪問介護員(非常勤)	1名	生活支援員(非常勤)		職業指導員(非常勤)
	あったかふれあいセンター職員(非常勤)	3名		送迎運転(非常勤)	職業指導員(非常勤)
地域活動支援センター支援員(非常勤)	地域活動支援センター支援員(非常勤)	1名			
	配食員(非常勤)	配食員(非常勤)	2名		
訪問介護員(非常勤)		訪問介護員(非常勤)	3名		
	業務項目	正職員	非常勤職員(フル)	非常勤職員(パート)	計
法人運営 地域福祉事業	5.5名	8名	3名	16.5名	
介護事業	1名	1名	4名	6名	
就労継続支援事業	0.5名	6名	3名	9.5名	
計	7名	15名	10名	32名	

2. 啓発・福祉教育事業

(1) 社協だより「あくしゅ」、社協リーフレットの発行

「あくしゅ」については、本会の組織や事業報告、経営状況を情報公開し、また、福祉情報、地域福祉活動を地域住民に広く知ってもらうために奇数月1日を発行日として、年間6回発行した。A4サイズ、全6ページカラー印刷の体裁で作成した。

各地区長に協力をいただき、全戸配布を行い、町内の金融機関や公共施設、交流施設等関係機関へも配置をお願いした。ホームページへの掲載も行った。

「社協リーフレット“こんにちは社会福祉協議会です”」については、社協会員募集時（7月）に、社協の事業概要などを紹介したパンフレットを作成し、全戸に配布した。裏面には、「お守りカード」を刷り込んだ。

(2) 福祉座談会

福祉委員の役割の検討、地域の福祉課題の把握などの内容で、8会場で実施した。

民生児童委員、福祉委員、地区長に呼びかけた。

開催日	対象地域	民生委員	地区長	福祉委員	役場・その他	社協	実人数
11月22日	北川～高野	4	2	5	1	3	14
11月24日	郷 地区	2	3	4	0	2	12
11月26日	白石 地区	2	4	4	3	2	15
11月30日	中央 地区	3	0	3	0	3	9
12月 1日	船戸 地区	2	4	6	0	2	12
12月 2日	精華 地区	5	6	9	0	3	23
12月 6日	葉山小学校区	6	6	10	1	3	25
1月27日	床鍋 地区	1	1	5	4	2	13
合 計		25	26	46	9	20	123

(3) 子ども福祉・ボランティア活動

■ボランティア活動・福祉教育推進事業助成金交付事業

津野町内の小、中学校が行う地域でのボランティア活動や福祉教育・伝承活動の取り組み支援することを目的として、本会の会員会費を活用して助成を行った。

<令和3年度助成先>

学校名	助成事業内容
葉山小学校	地域との連携交流事業（花植え活動、もちつき）
精華小学校	校内美化・栽培活動、地域サロンとの交流事業、いきいき学習発表会、ふれあいもちつき、環境整備、クラブボランティアとの活動交流、高齢者への年賀状作成
中央小学校	お茶づくり、米づくり
葉山中学校	地域清掃ボランティア活動、高齢者への年賀状送付
東津野中学校	神楽の伝承、発表会

■福祉教育・ボランティア学習の推進

津野町内の小・中学校のコミュニティスクール、地域学校協働本部の取り組みに参加し、学校及び関係者と連携して福祉活動に取り組んだ。学校関係会議・教職員との打ち合わせの実施及び参加状況は、次のとおり。

葉山小学校	6回
精華小学校	3回
中央小学校	5回
葉山中学校	5回
東津野中学校	5回

3. 住民主体の福祉コミュニティづくり

(1) 地域福祉活動計画

住民に身近な圏域で住民が主体的に地域生活課題を把握し、解決を目指して活動などを行うことを目的とした行動計画を町と協働して第3期計画として策定を行った。

町の策定する地域福祉計画と合同の事務局として策定作業を進めた。ボランティア等の活動者の活動実態や意見、ニーズ等の把握のため、次の調査及び聞き取り活動を行った。

<調査・聞き取り対象>

- ① 福祉座談会
- ② 福祉委員
- ③ ふれあい配食サービスボランティア
- ④ 地域サロン世話人、参加者
- ⑤ 中学生

(2) 福祉委員活動

東地区96名、西地区69名の福祉委員が、各地域で活動された。

民生委員との連携、見守り活動など地域に合った取り組みが進むよう福祉座談会を開催した。また、福祉パトロールへの協力を一部地域で呼びかけた。

福祉委員制度の見直しのため、福祉委員アンケートを実施し、要綱の見直しを行った。

1月には新たに地区長より推薦を受けた福祉委員に委嘱状を発行した。また、新福祉委員対象に民生委員等のつながりを重視した福祉委員研修会を開催した。

<福祉委員研修会>

開催日:令和4年3月15日(火)

内 容:①講話「身近な地域で見守り・つながるご近所力」

講師 高知県社会福祉協議会 地域・生活支援課 鈴木香氏

②説明「福祉委員制度について」

津野町社会福祉協議会

参加者:福祉委員 42名

民生児童委員 12名

<福祉委員アンケート>

実施時期:令和3年10月

調査対象:福祉委員 165名

回 収:回答者 96名(回収率 58.5%)

(3) 地域サロン

各地区の地域性やニーズに合わせたサロン活動が地域の創意工夫で展開された。一方で新型コロナウイルス感染予防対策に世話人の心理的負担も感じられたため、負担軽減を最優先に丁寧な支援を心掛けた。5月、8月、9月、2月、3月は感染拡大防止のため、活動自粛を依頼した。

地域福祉活動計画に反映させるため、ちょこっとお茶会の他各サロンに訪問し、サロンの自慢やうれしかったこと、苦勞を感じることなど世話人や利用者とは気軽な話し合いの場を持った。

＜地域サロン 実施状況＞		
報告サロン数：	30か所（東地区19か所	西地区11カ所）
	※前年度 29か所	
開催回数：	延 513回（東地区349回	西地区164回）
	※前年度 462回	
参加人数：	延 3,970人（東地区2,595人	西地区1,375人）
	※前年度 3,579人	

■世話人連絡会

サロン活動記録簿や新たな助成金ルールの説明、健康マイレージについて町と協力し世話人に説明を行った。また、各サロンの取り組みを発表してもらうなど情報交換を行った。

＜世話人連絡会 実施状況＞	
開催日：	令和3年4月8日（木）
参加者：	昼の部 10サロン 19人
	夜の部 13サロン 23人

■お茶会

世話人の情報交換の場として、2日間、昼の部と夜の部を開催し、参加しやすい環境設定に努めた。参加状況は次のとおり。

＜お茶会 実施状況＞	
開催日：	令和3年10月21日（木）
参加者：	昼の部 4サロン 7人
開催日：	令和3年10月22日（金）
参加者：	昼の部 5サロン 7人
	夜の部 3サロン 8人

■世話人研修会

コロナ感染状況を鑑み、中止した。

■サロン決算大相談会

地域サロンに対する町助成金の活用方法について問い合わせが多いことから、助成金使途報告書作成時期に合わせ、3日間個別相談会を実施し、各サロンの書類作成を支援した。実施日は、次のとおり。

- ・令和3年4月14日（水） 17時～19時
- ・令和3年4月15日（木） 9時～11時
- ・令和3年4月16日（金） 14時～16時

（4）福祉パトロール、見守り台帳

町内の70歳以上の一人暮らし高齢者や75歳以上の高齢夫婦世帯等に対して、新型コロナウイルス感染症予防のため、原則民生委員担当地区単位で7月～8月にかけて訪問調査を行った。

郷、船戸、白石地区では、地区住民が中心となってパトロール活動を行った。

福祉パトロール実施後には、安心・安全見守り台帳の情報から「お守りカード」を作成し、518世帯、655人の在宅一人暮らし高齢者等へ配置した。

<福祉パトロール実施方法、協力者の人数>

○民生委員単独で実施	10地区	10名
○民生委員、福祉委員で実施	4地区	24名
○民生委員、地区長、福祉委員で実施	5地区	18名
○民生委員、社協職員で実施	3地区	6名
○集落活動センターと協働	白石地区	17名
	船戸地区	12名
	郷地区	10名

(5) あったかふれあいセンター事業

町より受託し、専任の非常勤職員5名と兼任正規職員1名(0.8人役)の体制で事業を実施した。本年度より、かわうそ図書館と老人福祉センターの2か所に拠点を置き、それぞれ名称を「風のさと」、「星のさと」とした。また、サテライトは3か所で集いを中心に実施した。拠点では、誰もが気軽に来られるような雰囲気づくりに努め、各地区への回覧やパンフレットを作成し、学校運営協議会や地域サロン等でも周知した。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、マスクの着用や体温計測等利用のルールを定め、3密の回避や衛生管理に配慮しながら実施した。

送迎等の現場スタッフが足りないときには、他の職員が業務を補完した。

[風のさと]

<「集い」実績>

分類・名称	開設 日数	利用者数(延人数)					前年度 利用者数
		高齢者	障がい者	子ども	その他	合計	
拠点	204	317	33	87	99	536	0
せんだん	38	610	11	24	39	684	670
鶴松の風	41	955	0	18	29	1,002	1,079
合計		1,882	44	129	167	2,222	1,749

<機能別利用者数(延人数)>

集い(再掲)	送迎	相談	訪問	つなぎ	生活支援
2,222	1,087	30	557	40	596

[星のさと]

<「集い」実績>

分類・名称	開設 日数	利用者数(延人数)					前年度 利用者数
		高齢者	障がい者	子ども	その他	合計	
拠点	204	217	27	114	108	466	0
くつろぎ家	42	632	0	12	27	671	716
いちょうの郷	35	462	0	0	11	473	557
いらずのさと	41	485	0	0	24	509	742
合計		1,796	27	126	170	2,119	2,015

<機能別利用者数（延人数）>

集い（再掲）	送迎	相談	訪問	つなぎ	生活支援
2,119	797	27	821	13	245

[会議の開催回数]

定例会	運営検討会	ケース検討会	合同スタッフ会	運営協議会
2	2	2	7	2

(6) 小地域福祉活動

地域住民主体の地域福祉活動推進のため、地域担当職員をコミュニティソーシャルワーカーとして配置し、小学校区単位で地域を担当した。集落活動センターや地区と連携し、事業推進を図った。

4. 助け合い・支え合えるつながりづくり

(1) ボランティア活動・ボランティアセンター

■ボランティア登録

ボランティア活動保険や行事用保険の加入手続き及び活動を希望する人、団体の登録を行った。

○ボランティア登録者の現状

個人ボランティア登録93名（東40名、西53名）

○ボランティア活動保険加入手続き

加入者 12グループ160人

ボランティア行事用保険加入手続き件数 22件

■ボランティア連絡協議会事務局

町内のボランティア関連団体の連絡調整組織として、事務局運営を行った。2年ぶりに代表者会を開催し、また、ボランティア活動保険に関する情報紙を作成、各加盟団体へ送付した。加入団体は、16団体。

■24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティキャンペーン

令和2年度もコロナ感染予防のため、高知放送よりイベント等の自粛要請があり、募金の受付のみ行った。事務局としてテレビ局との調整、募金の集計送金等を行った。

<募金の受付等の状況>

受付期間：令和3年8月2日（月）～8月31日（火）

受付場所：〈東会場〉社協本所（総合保健福祉センター里楽）

〈西会場〉社協西支所（津野町老人福祉センター）

募金送金額：104,596円

（2）住民参加型助け合い制度「ほっとサービス」

一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障がいのある方等の暮らしの支援として住民参加によるサービスを実施した。

<ほっとサービス 実施状況>

受付件数27件 利用実績27件（東 5件、西25件）

協力会員：延52人 稼働時間：延89.5時間

- ゴミの分別、粗大ゴミの処理……8件
- 庭木の剪定、庭掃除……6件
- 墓掃除、背戸の草刈り……5件
- 大掃除……4件
- 家具の移動……2件
- カーテンの洗濯……1件
- 物干し竿の固定……1件

(3) ふれあい配食サービス

一人暮らし高齢者等とのふれあいを目的に昼食を宅配した。東地区では月4回、西地区では、月3回実施した。

ボランティア、民生児童委員の全面的な協力を得て、一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等で希望される方に手作りのお弁当をお届けした。

また、住民の方から多くの食材料の提供をいただいた。ボランティア、民生児童委員の配達時には、話し相手や安否確認などもでき心の交流につながった。新型コロナ感染症予防のため、5月の1回を休止した。

<ふれあい配食 実施状況>

	配食数（食）	利用者数（人） （4月時点）	調理ボランティア （延人数）	配達ボランティア （延人数）
東地区	2,561	67	305	315
西地区	1,971	67	226	260
計	4,532	134	531	575
※前年度	3,766	115	508	606

(4) 災害ボランティアセンター事業

コロナ感染拡大等により、運営会議及び研修会の開催を見送った。

5. 生活課題に向き合う総合相談

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

地域の見守りや支援を必要とする人、社会的孤立やその他の自立に関する制度の狭間にある問題など様々な生活課題を抱えている人たちに対して、アウトリーチによる問題発見や個別相談に応じるなど、積極的な相談支援を行った。

支援にあたっては、深刻な状況になる前の発見や地域への参加支援、見守りネットワークづくりを推進するため、地域への働きかけを意識して取り組んだ。

継続的支援を必要とする相談ケースに対しては支援計画を策定し、包括的な伴走型支援に努めた。また、高知県社協の家計相談支援事業、弁護士等の専門機関と連携し、相談者の生活課題の把握・整理から課題解決に向けて取り組んだ。更に、町担当者等関係機関との連携を図るため、定期的な情報交換やケース検討会などを行った。

人員体制	主任相談支援員 1名 ※兼務 相談支援員 1名 ※兼務
新規相談受付件数	29件
プラン策定件数	初回プラン策定件数 6件 再プラン策定及び評価 延件数 9件 プラン終了件数 2件
支援件数 相談内容	相談者数 延264人 ○電話相談 112件 ○訪問・同行支援 264件 ○面談 99件 ○支援調整会議でのプラン 15件 ○関係機関との協議、代行支援等 54件 相談内容内訳（延件数 40件） ○収入、生活費、債務処理等金銭に関すること 22件 ○病気や健康・障害、生活に関すること 6件 ○仕事探し、就労に関すること 2件 ○引きこもり、不登校 2件 ○介護に関すること 2件 ○家族関係 1件 ○子育て 1件 ○その他 3件

■ 自立支援金支給にかかる相談

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金に関する相談及び申請受付を行った。相談は2件。その内1件は、申請を行い、相談支援員により求職活動などの支援を行った。

■ 法律講座・弁護士相談会の開催

住民が法律を身近に感じ問題解決の知識を得ることと、弁護士相談会の啓発のために、法律(笑)講座を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

また、法律の専門的な対応が必要なケースなどの問題解決のために法テラス弁護士事務所およびひまわり基金法律事務所の協力を得て、個別相談会を開催した。

<弁護士相談会>

① 令和3年7月6日(火)

場 所 津野町総合保健福祉センター「里楽」
相談件数 3 件
対応弁護士 須崎ひまわり基金法律事務所 三上翔平 弁護士

② 令和3年8月24日(火)

場 所 津野町老人福祉センター
相談件数 3 件
対応弁護士 法テラス須崎法律事務所 武内良平 弁護士

③ 令和3年11月16日(火)

場 所 津野町総合保健福祉センター「里楽」
相談件数 3 件
対応弁護士 須崎ひまわり基金法律事務所 三上翔平 弁護士

④ 令和4年2月22日(火)

場 所 津野町老人福祉センター
相談件数 3 件
対応弁護士 法テラス須崎法律事務所 小野 歩 弁護士

■若者サポート会議

引きこもり傾向のある若者支援のために、若者サポートステーション、教育委員会、町健康福祉課、介護福祉課と協力体制をとり、定期的(4回)に関係者会議を開催した。

また、家族支援を視野に入れ、サポステ相談会の日程に合わせてひきこもり若者の親の茶話会を開催したが当事者の参加はなかった。

■フードドライブ活動

県下で展開される食料支援のための活動に参加し、住民への呼びかけを「あくしゅ」や本所、支所の窓口で行った。また、住民から多くの食料品のご寄付を頂き、必要な方への食料提供活動を行った。食糧支援は、33件(10名)だった。

■ひきこもり支援

民生委員や地域、関係機関からの情報等より把握し、接点の取れたひきこもり当事者及び家族への支援を継続して行った。

過年度より継続ケース 2件、新規支援ケース 1件だった。

(2) 福祉サービス利用援助事業

日常生活を送る上で、自分ひとりでは判断することが難しい高齢者や障がい者が安心して生活が送れるように、福祉サービス利用援助と日常的な金銭管理、暮らしのアドバイスを行った。

支援にあたっては、利用者の自己決定を尊重しながら、専門員と生活支援員が連携し、事業を実施することにより利用者の在宅生活を支援した。

<支援の状況>

令和3年度末現在契約件数	3件
生活支援員による支援回数	41回(43.5時間)
専門員による直接支援回数	9回(16.0時間)
相談件数	70件

(3) 生活福祉資金貸付相談制度

新型コロナウイルス感染症の影響により休業や失業で生活に困っている世帯へ緊急小口資金、総合支援資金特例貸付の相談、申請援助を行った。

高知県社会福祉協議会との契約によって借受世帯に対する償還支援を実施した。特に、生活困窮者自立相談支援事業とも連携し、貸し付けに関する相談にも応じた。

<相談・支援の状況>

令和3年度末現在借入件数	61件
令和3年度新規貸付	27件
┌	
・緊急小口資金	7件
・緊急小口資金(特例貸付)	10件
・総合支援資金(特例貸付)	3件
・総合支援資金延長貸付	7件
└	
借り受けに関する相談件数	32件
償還指導	2件

6. 在宅介護・在宅支援事業

(1) 介護保険サービス「訪問介護事業」

居宅サービス計画に沿った訪問介護計画の作成を行い、利用者とのコミュニケーションを大切にして計画に基づいたサービスの提供を行った。利用者数及びサービス提供量は、前年度に比べ減少した。

ケース検討会を定期的に行い、感染予防対策の確認や必要な情報を共有することによって統一したサービスを提供することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により外部研修会への参加は難しかったが、事業所内の救急法講習会や地域包括支援センター主催の認知症研修会に出席した。

<利用実績>

月	利用者数（実人員）		稼働ヘルパー数 （実人員）
	3年度	※前年度	
4月	9	10	5
5月	9	10	5
6月	8	10	5
7月	7	11	5
8月	9	11	5
9月	9	11	5
10月	9	11	5
11月	10	12	5
12月	10	13	5
1月	9	12	4
2月	10	12	4
3月	11	8	4
合計	延110	延131	延57

<サービス内容別提供数>

サービス内容	提供回数(回)		延時間（時間）	
	3年度	※前年度	3年度	※前年度
身体介護	478	491	322	317
生活援助	0	67	0	67
身体+生活	89	115	89	115
介護予防・総合	235	276	235	276
合計	802	949	646	775

(2) 介護保険サービス「訪問入浴介護事業」

居宅介護支援事業所や利用者家族と情報共有することによって安心、安全に入浴サービスを提供することができた。

<利用実績>

利用者数：3人
サービス提供回数：155回（前年度10回）

(3) 福祉用具貸与・介護用品あっせん事業

通院時や外出時などに貸し出す車いすの短期利用および外泊時のみの電動ベッドについては無料で貸与した。ベッドの搬出入は、本会事務局で行った。

介護用品の斡旋については、本会事務局で相談を受けながら対応した。利用相談及び貸し出しが増えているベッドについては、希望に添えるよう1台購入した。

<利用実績>

所有用具	貸し出し利用人数		
	長期	短期	※前年度
電動ベッド	21	1	長期18 短期2
車椅子	8	22	長期12 短期25

(4) 生活支援型配食サービス

町からの受託事業として実施。ケア調整会議で必要と認められた方へ昼食を配達した。全町で毎日型の配達を実施した。普通食は、町内飲食業者、特別食は、特別養護老人ホームに調理を委託し、配達は大協職員が対応した。安否確認や必要がある場合には、関係機関への連絡等、在宅生活の継続を支援した。

<利用実績>

区分	利用者数(人)	提供食数
特別食	5	997
普通食	16	1,830
計	21	2,827（前年度2,965）

7. 障がい者地域生活支援

(1) 地域活動支援センター

町内の障がいのある住民が交流活動やレクリエーションを通じて、地域との交流や仲間づくりを行うために、「わきあいあい広場」及び「わきあいあい広場ミニ」を実施した。利用者に合わせたサポートを行いながら、生活訓練などを実施した。

また、支援ボランティアの研修を行い、職員と共に障がいの理解や個別支援について学んだ。生活相談在宅訪問や障がい児長期休暇支援事業にも積極的に取り組んだ。

<研修会>

開催日：令和4年3月11日（金）

内 容：講義「“みてわかる” 支援と環境づくり」

講師 高知県発達障害者支援センター

参加者：自立支援ボランティア 3名

町、社協職員 9名

■わきあいあい広場

町内の障がい者の交流の場として毎月実施した。6月、2月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

参加を通して、社会生活の幅が広がり、日常生活の中でも声掛けがきる仲間となってきた。

<内容と参加状況>

実施日	内 容	参加者数（人）	
		障がい者	ボランティア 社協職員
4月 7日	調理・ノルディックウオーキング	7	4
5月18日	調理・スポーツ体験	7	10
7月12日	読書（かわうそ図書館）	6	6
10月28日	調理・陶芸教室	7	3
11月18日	ピザ焼き体験・レクリエーション	9	6
12月 7日	調理・クリスマス会	11	4
1月12日	調理・室内ゲーム	5	5
1月20日	調理・室内ゲーム（トランプ・オセロ等）・おやつ作り	4	6
3月14日	次年度話し合い	4	4
合 計		60	48
※前年度		75	45

■わきあいあい広場ミニ

日中の居場所を確保し、自分のペースで社会的な体験ができる場として、実施した。集団の中では対応できにくい個性と障害特性への配慮をしつつ生活課題に向き合い、調理や作業など利用者主体の活動となるよう個別支援を行った。

<内容と参加状況>

実施月	内 容	利用者数 (人)
4月(4回)	手芸・買い物・料理教室・スマホ教室	9
5月(4回)	手芸・買い物・座談・料理教室	6
6月(4回)	料理教室・お菓子作り・買い物・手芸	7
7月(3回)	料理教室・天狗高原散策・手芸	8
8月(2回)	料理教室・買い物	3
10月(4回)	手芸・買い物・お菓子作り・料理教室	13
11月(4回)	花壇作り・料理教室・買い物・手芸	11
12月(4回)	クリスマス飾りつけ・お菓子作り・買い物・手芸	10
1月(2回)	手芸・ミニコンサート	6
3月(3回)	手芸・買い物。栄養指導	3
合 計 (34回)		76
※前年度		58

■生活相談事業

在宅で暮らされている障がいのある方々のうち、福祉サービスの利用をしていない障がいのある当事者の自宅を訪問し、当事者や家族と会話をしながら、困りごとや生活課題の把握に努めた。必要なケースについては、町や保健師に相談し、つないだ。

<p><支援件数></p> <p>相談者数 実 12人</p> <p>○支援 15件</p> <p>○相談 61件</p> <p>○訪問 11件</p> <p>○電話 2件</p>	<p><相談・支援内容内訳></p> <p>○買い物支援 8件</p> <p>○パソコン教室 7件</p> <p>○スマホの使い方 10件</p> <p>○家庭・家族に関すること 15件</p> <p>○健康に関すること 4件</p> <p>○仕事に関すること 11件</p> <p>○その他 21件</p>
--	--

■障害児長期休暇支援事業

保健師等町関係者との協議や関係学校と連絡をとりながら、子どもたちが楽しい休暇を送れるよう支援した。地域住民、支援ボランティアの協力を得て実施した。支援ボランティアの協力を得て、子どもたちの様々な体験や遊びの場を提供し、楽しい休暇を過ごしてもらうことができた。

<内容と参加状況>

実施日	内 容	参加者数（人）		
		児童・生徒	ボランティア	職員 (町・社協)
7月21日	宿題・調理・陶芸教室	5	4	6
7月28日	宿題・ピザ役体験・川遊び	11	6	6
7月29日	宿題・調理・陶芸教室	5	4	8
8月 2日	宿題・お弁当作り・プラネタリウム	4	6	7
8月 4日	宿題・工作・プール遊び	5	1	7
8月 5日	宿題・工作・プール遊び	6	2	6
8月10日	宿題・お弁当作り・プラネタリウム	8	5	6
8月16日	カレー作り・お金の学習・歯科教室・宿題	5	2	5
8月18日	カレー作り・お金の学習・歯科教室・宿題	6	2	5
12月27日	宿題・年賀状作成・レクリエーション・お菓子作り	11	2	5
1月 7日	宿題・調理実習（クレープ作り）レクリエーション	11	1	7
3月25日	宿題・工作・レクリエーション	8	1	5
3月29日	救代・出店ごっこ（春祭り）・音楽療法	8	7	4
合 計		93	43	77
※前年度		133	51	100

(2) 障害福祉サービス「居宅介護」

在宅生活、地域生活を送るために、利用者の身体機能や心に合わせたサービス提供に努めた。ヘルパー間の情報共有やケース検討の場をもち、利用者とのコミュニケーションをていねいに行うことにより、利用者に寄り添ったサービスを提供することができた。

サービスの質を高めるために、町相談支援事業所、サービス関係スタッフとのケース会議に出席した。利用者に関する新型コロナウイルス感染症への対応も行った。

<利用実績>

利用者数：9人

サービス提供時間：528時間（前年度431時間）

(3) 移動支援事業

外出のための移動に困難がある障がい児・者の日中の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする事業で、町より受託し、介護職員による移動支援を行った。

<利用実績>

利用者数：2人

サービス提供日数：8日（前年度4日）

サービス提供時間：50時間（前年度24時間）

(4) 日中一時支援事業

障がい児・者を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的として支援する事業で、町より受託し、利用者が通学する学校内で放課後のケアを介護職員が行った。

<利用実績>

利用者数：1人

サービス提供日数：4日（前年度なし）

サービス提供時間：7時間（前年度なし）

8. 就労継続支援（B型）事業所

（1）事業所経営

障害福祉サービス就労継続支援（B型）事業所として、どんぐり農園 グリューネ・作業所里楽を一体的に運営した。

4月に管理者を交代し、管理者たる正職員1名（兼務）と非常勤職員10名の職員体制でスタートしたが、5月からはどんぐり農園の送迎スタッフが欠員となり、その後は職員が送迎業務を補完しながら業務にあたった。

また、事業所の運営にあたっては、新型コロナウイルスの感染予防に十分に配慮するとともに、両事業所のスタッフ間の連携を心掛けた。

（2）福祉事業活動

新規利用者が1名あったが、3名がサービス終了となったため、3月末の利用者実人員は20名（どんぐり農園_7名、作業所里楽_13名）。

町相談支援事業所との月2回の連絡会やケース会議等を通じて個人の能力や心理、体調等状況把握を行いながら個別支援計画を作成した。

また、町自立支援協議会やその部会である就労支援部会に出席し、就労に関する情報共有や一般就労への取り組みなどについて情報共有を行った。

<利用実績>

月	利用者数 (実人員)	利用者数(延人員)	内 訳	
			どんぐり農園	作業所里楽
4月	22	365	130	235
5月	22	312	116	196
6月	19	359	135	224
7月	19	322	121	201
8月	19	331	129	202
9月	19	298	125	173
10月	18	323	132	191
11月	20	346	133	213
12月	19	321	126	195
1月	20	313	119	194
2月	20	305	116	189
3月	20	354	138	216
合 計	237	3,949	1,520	2,429
※前年度	276	4,154	1,551	2,603

(3) 生産活動（就労支援）

どんぐり農園では、かおりの里づくり推進会議から注文を受け、タネから花を育て、春と秋に合わせて4万本近くの花苗を出荷した。また、ハナニラを栽培し、直販所を通しての販売や商店・個人への直売りで収益をあげた。さらに、安定した作業需要がある町内の公共施設の清掃などにより利用者の就労支援を行った。花苗の生産・販売が好調だったことや清掃作業の受注増により年間売上げも大幅に増加した。

作業所里楽では、クッキーを中心とした菓子類の製造、喫茶の運営、町内の公共施設の清掃等に取り組んだ。新型コロナの影響で、販売促進活動や喫茶部門の運営が制限されたが、クッキーの販売については、新たに葉山中学校PTAから年3回の定期受注をいただくこととなり、結果として年間売上げは前年度を上回った。

9. 共同募金事業、日赤事業

(1) 共同募金、歳末たすけあい募金の募集と助成

共同募金推進計画に基づいて募金活動をそれぞれ行った。

戸別募金では各地区長の全面的な協力で募金活動を実施し、歳末たすけあい運動は、イベントは行わなかった。

<募金活動、助成事業状況>

赤い羽根共同募金

募金実績額： 1,180,701 円

本会で受けた助成額： 750,000 円

助成事業：ふれあい配食サービス、福祉パトロール
社協だより「あくしゅ」発行

歳末たすけあい募金

募金実績額： 50,000 円

本会で受けた助成額： 107,695 円

助成事業：年末特別配食

(2) 歳末たすけあい助成事業「歳末特別配食」

歳末たすけあい運動の活動は、新型コロナウイルス感染症予防のため、集落活動センターや地域で活動している団体にも協力を依頼し、地区を7か所に分散して実施した。

対象者には、高齢者世帯に生活困窮等で支援を行っている方や民生児童委員の気になる世帯も加え、292世帯366人を訪問した。

<東地区>

実施日	調理・配達拠点	対象者数	ボランティア数
12月22日(水)	里楽	42世帯 49人	調理11人・配達7人
12月22日(水)	久保川加工所・酒蔵	7世帯 27人	調理6人・配達5人
12月24日(金)	里楽	96世帯 108人	調理12人・配達19人
12月25日(土)	森の巣箱	6世帯 8人	調理4人・配達4人

<西地区>

実施日	調理・配達拠点	対象者数	ボランティア数
12月21日(火)	老人福祉センター	79世帯 97人	調理11人・配達7人
12月24日(金)	集活 ふなど	36世帯 44人	調理6人・配達5人
12月25日(土)	集活 奥四万十の郷	26世帯 33人	調理12人・配達19人

(3) 日赤(日本赤十字社)事業と活動資金募集

赤十字事業の啓発に努め、その活動資金の募集を5月の「赤十字会員増強月間」に行った。各地区長の協力で次のとおりの実績があった。

<資金募集活動実績、現在積立金額>

目標額	838,000円
実績額	897,000円
災害積立金	112,618円

10. 福祉団体の活動支援

各団体の事業計画に基づき、役員を中心とした事業運営が円滑に行われるよう支援した。事務局として活動した団体は、次のとおり。

(1) 民生児童委員協議会 事務局

本会と協働しながら、福祉パトロール、安心安全見守り台帳作成等に主体的に関わり、調査、調整、学習活動等を行った。

毎月の定例会開催や学校訪問の調整、会計事務、各種研修会への参加調整、研修事業調整など事務局業務を行った。

地域の見守り活動では、福祉委員との連携を図るため、福祉委員と協働した福祉パトロールの実施や福祉座談会など福祉委員と民生児童員をつなぐ取り組みを行った。

(2) 老人クラブ連合会 事務局

新型コロナウイルスの感染防止に努め、中止や規模を縮小させながら、事業に取り組んだ。

3 B体操や体力測定会、グラウンドゴルフ、ポッチャ、ウォーキングなどの健康づくり活動、陶芸教室や老人大学、地域支え合い研修会などの教養活動などについては、感染対策を行った上で実施した。

事業の計画、実施に関しては役員を中心に取り組み、事務局としては単位クラブとの連絡調整、町や高幡・県の老人クラブ連合会との調整を行った。

(3) 障がい（児）者連合会 事務局

新型コロナウイルスによる影響で、予定していたほとんどの事業が実施できなかったが、感染予防に留意し、年末にはクリスマス会を実施した。事務局として、役員会や事業の調整、周知とりまとめ、会計事務などを行った。

(4) シルバー介護士会「ひだまり」事務局

一人暮らし高齢者等の在宅訪問活動が定期的（月1回）に実施できるよう、訪問世帯の調整や訪問時の送迎支援を行った。集いは実施しなかった。